

## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 タカラバイオ株式会社  
 コード番号 4974 URL <http://www.takara-bio.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲尾 功一  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松崎 修一郎 TEL 077-565-6970  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,450	△5.3	3,035	15.7	2,961	10.9	2,075	20.6
2019年3月期第2四半期	17,370	23.0	2,623	280.9	2,669	248.5	1,720	468.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,182百万円 (39.2%) 2019年3月期第2四半期 849百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.23	-
2019年3月期第2四半期	14.29	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	70,837	64,558	91.0	535.39
2019年3月期	71,040	64,095	90.1	531.57

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 64,468百万円 2019年3月期 64,009百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	7.00	7.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,900	△5.4	6,200	13.5	6,350	12.1	4,250	16.2	35.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表および主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	120,415,600株	2019年3月期	120,415,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	-株	2019年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	120,415,600株	2019年3月期2Q	120,415,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する適切な利用に関する説明、その他特記事項）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
(1) 経営管理上重要な指標の推移	11
(2) 連結比較損益計算書	12
(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が弱含み、景気に足踏み感がみられたことに加え、米中の貿易摩擦の長期化や地政学的リスクの高まり等の影響により、依然として、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、2018年3月期よりスタートした3ヵ年の中期経営計画「タカラバイオ中期経営計画2019」の最終年度を迎え、その全体方針に掲げる「グローバル企業かつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指す」ための取り組みを推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬と受託サービスが前年同期比で増加いたしました。理化学機器が前年同期比で減少したこと、また前連結会計年度において、医食品バイオセグメント内の健康食品およびキノコにかかる両事業を譲渡した影響により、16,450百万円（前年同期比94.7%）と減収となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、6,121百万円（前年同期比86.8%）となり、売上総利益は、10,329百万円（前年同期比100.1%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等が減少し、7,293百万円（前年同期比94.8%）となり、営業利益は、3,035百万円（前年同期比115.7%）と増益となりました。

営業利益の増益にともない、経常利益は、2,961百万円（前年同期比110.9%）、税金等調整前四半期純利益は、2,950百万円（前年同期比121.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,075百万円（前年同期比120.6%）と増益となりました。

事業セグメント別の状況は、次のとおりであります。

## [バイオ産業支援]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置づけております。

当第2四半期連結累計期間は、理化学機器の売上高が前年同期比で減少いたしました。研究用試薬と受託サービスの売上高が前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、14,406百万円（前年同期比100.6%）と増収となり、売上総利益は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、8,613百万円（前年同期比103.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費等の増加により5,741百万円（前年同期比100.3%）となりましたが、営業利益は、2,872百万円（前年同期比111.0%）と増益となりました。

## [遺伝子医療]

当事業では、がん等の疾患を対象とし、腫瘍溶解性ウイルスC-REVや、独自技術である高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法、siTCR<sup>®</sup>技術を使用した、遺伝子改変T細胞療法等の遺伝子治療の開発を進めております。

当第2四半期連結累計期間は、国内におけるNY-ESO-1・siTCR<sup>®</sup>遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料の受領および共同開発にかかる治験製品の売上がありましたが、総額としては前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、2,044百万円（前年同期比95.3%）となり、売上総利益は、1,715百万円（前年同期比92.1%）となりました。しかしながら、販売費及び一般管理費が、研究開発費等の減少により427百万円（前年同期比64.4%）となったことで、営業利益は、1,287百万円（前年同期比107.5%）と増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、70,837百万円となり、前連結会計年度末に比べて203百万円減少いたしました。これは主に、建設仮勘定の減少3,233百万円や受取手形及び売掛金の減少3,000百万円があったものの、建物及び構築物の増加5,014百万円や現金及び預金の増加1,097百万円があったことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、6,278百万円となり、前連結会計年度末に比べて666百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他の減少691百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、64,558百万円となり、前連結会計年度末に比べて462百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定の減少908百万円があったものの、利益剰余金の増加1,355百万円があったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,709百万円の収入となり、前年同期に比べて996百万円の収入増加となりました。これは主に、その他の流動負債の減少による支出が1,073百万円増加したものの、売上債権の減少による収入が1,754百万円、税金等調整前四半期純利益が513百万円増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,283百万円の支出となり、479百万円の支出増加となりました。これは主に、定期預金の預入による支出の減少1,888百万円があったことに加え、定期預金の払戻による収入の減少1,342百万円や有形・無形固定資産の取得による支出の増加1,123百万円があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、884百万円の支出となり、前年同期に比べて344百万円の支出増加となりました。これは主に、配当金の支払額が300百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、10,676百万円となり、前連結会計年度末より1,212百万円の増加となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績および直近の状況を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

売上高は、バイオ産業支援事業および遺伝子医療事業が計画未達となる見込みでありますので、全体では期初予想を下方修正しております。

利益面につきましては、売上高の計画未達にともない売上総利益は計画を下回るものの、販売費および一般管理費全般にわたり圧縮に努めることで、これを吸収できる見込みであることから、営業利益は期初予想を据え置いております。経常利益は、為替差損等の発生により下方修正しておりますが、特別損失および法人税等の減少が見込まれることから、親会社株主に帰属する当期純利益は期初予想を据え置いております。

なお、修正した連結業績予想と前期実績および前回業績予想との比較は、13ページ「連結業績予想に関する比較計算書」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,033	18,131
受取手形及び売掛金	8,604	5,604
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	4,523	4,369
仕掛品	706	1,081
原材料及び貯蔵品	1,506	1,682
その他	941	1,279
貸倒引当金	△41	△40
流動資産合計	35,275	34,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,775	16,638
減価償却累計額	△5,435	△5,282
建物及び構築物 (純額)	6,340	11,355
機械装置及び運搬具	5,510	5,000
減価償却累計額	△3,745	△3,150
機械装置及び運搬具 (純額)	1,764	1,850
工具、器具及び備品	6,890	7,115
減価償却累計額	△4,588	△4,906
工具、器具及び備品 (純額)	2,302	2,209
土地	6,213	6,111
建設仮勘定	4,784	1,550
その他	15	1,000
減価償却累計額	△15	△65
その他 (純額)	-	934
有形固定資産合計	21,404	24,011
無形固定資産		
のれん	7,598	7,136
その他	5,029	4,607
無形固定資産合計	12,628	11,744
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,732	972
投資その他の資産合計	1,732	972
固定資産合計	35,765	36,728
資産合計	71,040	70,837

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,536	984
未払法人税等	391	475
引当金	593	545
その他	3,495	2,804
流動負債合計	6,017	4,810
固定負債		
退職給付に係る負債	667	693
その他	260	774
固定負債合計	927	1,468
負債合計	6,945	6,278
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	15,401	16,756
株主資本合計	63,260	64,615
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	964	56
退職給付に係る調整累計額	△215	△202
その他の包括利益累計額合計	749	△146
非支配株主持分	85	89
純資産合計	64,095	64,558
負債純資産合計	71,040	70,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,370	16,450
売上原価	7,049	6,121
売上総利益	10,321	10,329
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,947	1,957
退職給付費用	88	89
研究開発費	2,104	1,858
引当金繰入額	277	267
その他	3,280	3,121
販売費及び一般管理費合計	7,697	7,293
営業利益	2,623	3,035
営業外収益		
受取利息	43	59
不動産賃貸料	45	53
その他	9	17
営業外収益合計	98	130
営業外費用		
為替差損	24	176
不動産賃貸費用	20	17
その他	7	9
営業外費用合計	52	203
経常利益	2,669	2,961
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	63	9
災害による損失	128	-
減損損失	41	-
投資有価証券売却損	-	2
特別損失合計	233	12
税金等調整前四半期純利益	2,436	2,950
法人税、住民税及び事業税	862	665
法人税等調整額	△144	205
法人税等合計	718	870
四半期純利益	1,717	2,080
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,720	2,075



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,717	2,080
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△882	△909
退職給付に係る調整額	14	12
その他の包括利益合計	△867	△897
四半期包括利益	849	1,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	861	1,179
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,436	2,950
減価償却費	1,336	1,352
減損損失	41	-
その他の償却額	82	65
のれん償却額	247	250
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	0
その他の引当金の増減額 (△は減少)	224	△39
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	27
受取利息	△43	△59
固定資産除売却損益 (△は益)	62	9
災害損失	128	-
売上債権の増減額 (△は増加)	1,148	2,903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△958	△546
仕入債務の増減額 (△は減少)	△253	△500
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△165	△1,239
その他	△95	88
小計	4,208	5,261
利息及び配当金の受取額	43	63
法人税等の支払額	△538	△615
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,713	4,709
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,938	△2,049
定期預金の払戻による収入	3,442	2,100
有価証券の取得による支出	△2,000	△2,000
有価証券の売却及び償還による収入	2,000	2,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,264	△2,387
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	100
その他償却資産の取得による支出	△46	△47
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,803	△2,283
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△540	△841
リース債務の返済による支出	-	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△540	△884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△202	△329
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,166	1,212
現金及び現金同等物の期首残高	10,051	9,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,218	10,676

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」(以下、「ASU第2014-09号」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。ASU第2014-09号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これにともない、約束した財またはサービスが顧客に移転された時点で、当該財またはサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これにともない、借手は、原則としてすべてのリースについて、適用開始日に使用权資産およびリース債務を認識しております。また、従来「投資その他の資産」に含めて記載しておりました土地使用権使用权資産に含めて記載しております。

この結果、有形固定資産の「その他(純額)」が608百万円、流動負債の「その他」が61百万円、固定負債の「その他」が78百万円それぞれ増加し、「投資その他の資産」が468百万円減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ			
売上高						
外部顧客への売上高	14,316	2,144	909	17,370	-	17,370
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	14,316	2,144	909	17,370	-	17,370
セグメント利益または 損失(△)	2,588	1,198	△85	3,701	△1,078	2,623

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,078百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医食品バイオ」セグメントにおいて、遊休化が見込まれる当該事業用資産にかかる減損損失を特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては41百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バイオ産業 支援	遺伝子 医療			
売上高					
外部顧客への売上高	14,406	2,044	16,450	-	16,450
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-
計	14,406	2,044	16,450	-	16,450
セグメント利益	2,872	1,287	4,160	△1,124	3,035

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,124百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、報告セグメント「医食品バイオ」内の健康食品およびキノコにかかる両事業を譲渡したため、第1四半期連結会計期間より、当該セグメントを廃止しております。

## 3. 補足情報

## (1) 経営管理上重要な指標の推移

## ① キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年9月30日	2020年3月期 第2四半期連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年9月30日	2019年3月期 自2018年4月1日 至2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,713	4,709	5,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,803	△2,283	△5,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	△540	△884	△541

## ② 地域別売上高

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年9月30日	2020年3月期 第2四半期連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年9月30日	2019年3月期 自2018年4月1日 至2019年3月31日
日本	7,652	6,816	16,101
米国	4,040	3,954	7,945
中国	3,001	3,023	6,227
日本・中国除くアジア	991	918	1,994
欧州	1,557	1,596	3,328
その他	127	141	244
合計	17,370	16,450	35,841

## ③ 報告セグメントごとの研究開発費

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年9月30日	2020年3月期 第2四半期連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年9月30日	2019年3月期 自2018年4月1日 至2019年3月31日
バイオ産業支援	1,353	1,382	2,723
遺伝子医療	655	392	1,391
全社共通	95	83	222
合計	2,104	1,858	4,337

## (2) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	2019年3月期 第2四半期 連結累計期間実績	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	11,149	11,613	464	104.2%
理化学機器	1,390	620	△ 770	44.6%
受託サービス	1,555	1,961	406	126.1%
その他	220	210	△ 10	95.4%
バイオ産業支援計	14,316	14,406	90	100.6%
遺伝子医療	2,144	2,044	△ 100	95.3%
その他(旧医食品バイオ)	909	-	△ 909	-
売上高計	17,370	16,450	△ 919	94.7%
(営業損益)				
売上高	17,370	16,450	△ 919	94.7%
売上原価	7,049	6,121	△ 927	86.8%
売上総利益	10,321	10,329	7	100.1%
販売費一般管理費	7,697	7,293	△ 404	94.8%
運送費	339	186	△ 153	54.8%
宣伝費	30	33	3	110.0%
促進費	344	299	△ 44	87.0%
研究開発費	2,104	1,858	△ 245	88.3%
管理費、その他	4,719	4,766	47	101.0%
事業税(外形基準)	159	149	△ 10	93.5%
営業利益	2,623	3,035	411	115.7%
(営業外損益)				
営業外収益	98	130	31	131.9%
営業外費用	52	203	151	387.2%
経常利益	2,669	2,961	292	110.9%
(特別損益)				
特別利益	0	0	△ 0	95.7%
特別損失	233	12	△ 221	5.2%
税金等調整前四半期純利益	2,436	2,950	513	121.1%
法人税等	718	870	151	121.1%
四半期純利益	1,717	2,080	362	121.1%
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 2	4	7	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,720	2,075	354	120.6%
減価償却費(有形・無形)	1,336	1,352	15	101.2%
のれん償却額	247	250	3	101.3%

## セグメント別損益(営業利益)

	2019年3月期 第2四半期 連結累計期間実績	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	2,588	2,872	283	111.0%
遺伝子医療	1,198	1,287	89	107.5%
その他(旧医食品バイオ)	△ 85	-	85	-
全社(共通)	△ 1,078	△ 1,124	△ 46	-
計	2,623	3,035	411	115.7%

(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期前回予想	2020年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
(売上高)							
研究用試薬	23,601	24,990	24,147	546	102.3%	△ 843	96.6%
理化学機器	2,570	2,108	1,255	△ 1,315	48.8%	△ 853	59.5%
受託サービス	4,954	5,800	5,748	794	116.0%	△ 52	99.1%
その他	449	403	380	△ 69	84.6%	△ 23	94.2%
バイオ産業支援計	31,575	33,302	31,531	△ 44	99.9%	△ 1,771	94.7%
遺伝子医療	2,443	2,697	2,368	△ 74	96.9%	△ 328	87.8%
その他(旧医食品バイオ)	1,822	-	-	△ 1,822	-	-	-
売上高計	35,841	36,000	33,900	△ 1,941	94.6%	△ 2,100	94.2%
(営業損益)							
売上高	35,841	36,000	33,900	△ 1,941	94.6%	△ 2,100	94.2%
売上原価	15,155	14,053	13,050	△ 2,104	86.1%	△ 1,002	92.9%
売上総利益	20,685	21,946	20,849	163	100.8%	△ 1,097	95.0%
販売費一般管理費	15,221	15,746	14,649	△ 572	96.2%	△ 1,097	93.0%
運送費	492	500	481	△ 10	97.9%	△ 18	96.2%
宣伝費	56	86	68	12	121.5%	△ 17	79.6%
促進費	703	674	612	△ 90	87.1%	△ 61	90.8%
研究開発費	4,337	4,292	3,914	△ 422	90.2%	△ 377	91.2%
管理費、その他	9,361	9,896	9,272	△ 89	99.0%	△ 624	93.7%
事業税(外形基準)	270	296	299	29	110.9%	3	101.2%
営業利益	5,463	6,200	6,200	736	113.5%	-	100.0%
(営業外損益)							
営業外収益	307	320	348	41	113.4%	27	108.7%
営業外費用	105	70	198	92	187.3%	127	281.5%
経常利益	5,665	6,450	6,350	684	112.1%	△ 100	98.4%
(特別損益)							
特別利益	146	0	0	△ 146	0.3%	0	197.7%
特別損失	988	299	252	△ 735	25.5%	△ 47	84.2%
税金等調整前当期純利益	4,823	6,150	6,098	1,274	126.4%	△ 52	99.1%
法人税等	1,149	1,887	1,837	687	159.8%	△ 50	97.3%
当期純利益	3,673	4,262	4,260	586	116.0%	△ 2	99.9%
非支配株主に帰属する当期純利益	15	12	10	△ 5	64.7%	△ 2	82.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,657	4,250	4,250	592	116.2%	-	100.0%
減価償却費(有形・無形)	2,691	2,957	2,891	200	107.5%	△ 65	97.8%
のれん償却額	502	491	493	△ 9	98.1%	1	100.3%

セグメント別損益(営業利益)

	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期前回予想	2020年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
バイオ産業支援	7,100	7,750	7,490	389	105.5%	△ 260	96.6%
遺伝子医療	506	996	964	458	190.5%	△ 31	96.9%
その他(旧医食品バイオ)	△ 29	-	-	29	-	-	-
全社(共通)	△ 2,114	△ 2,546	△ 2,255	△ 141	-	291	-
計	5,463	6,200	6,200	736	113.5%	-	100.0%